

薬剤師の やりがい について聞いてみよう



薬剤師は、患者さんと直接関わる機会が多く患者さんに「お変わりないですか?」と声をかけ、身体の調子に合わせて、薬の正しい使い方を教えたり、困りごとを聞いたりします。患者さんから「お話ができてよかったわ。元気が出たわ!」と笑顔になっていただくと嬉しく、やりがいを感じます。



自分のライフステージに応じた働き方ができるのも薬剤師の魅力!

病院勤務から、出産を機に薬局へ転職しました。

出産、育児休業、子育て。



フルタイム
& 夜勤あり。



フルタイム
(復帰!)

時短&夜勤なし
土日休み。

病院勤務で培った幅広い薬学知識とチーム医療の経験を活かしつつ、薬局では患者さんにより近い立場で丁寧な服薬指導を行っています。

保護者の
みなさまへ

薬剤師の将来性は?

薬剤師は、研究開発や製造管理、調剤、販売など医薬品に関するあらゆる業務に携わることのできる国家資格者です。薬局を開業するケースもあります。超高齢化が進む日本では、外来診療から在宅医療や介護へのニーズが高まっており、こうした中で、薬剤師は今後も重要な役割を担う職種として期待されています。「日本薬剤師会」では、そんな薬剤師・薬学生の皆様のさまざまな形でサポートしています。健やかな日本の未来のためにも、「薬剤師」という職種をお子様の将来の選択肢の一つとしてお考えいただければ幸いです。

「かかりつけ薬剤師・薬局」が 注目されています。

かかりつけ薬剤師とは、薬による治療のこと、健康や介護に関することなどに豊富な知識と経験を持ち、患者さんや生活者のニーズに沿った相談に応じることができる薬剤師のことをいいます。かかりつけ薬剤師になるには、実務経験の他に国が定めた要件を満たす必要がありますが、それらは薬剤師の実績となりキャリアアップにも繋がります。一人の薬剤師が、一人一人の患者様の薬の情報などを把握し、治療をサポートする、かかりつけ薬剤師は今後ますますニーズが高まっていくでしょう。



公益社団法人

日本薬剤師会
Japan Pharmaceutical Association

東京都新宿区四谷3-3-1 四谷安田ビル7F



高校生の
みなさんへ

薬剤師のお仕事

日本薬剤師会からのお知らせ

親子で目指す



ふぁるみん



日本薬剤師会
公式キャラクター

薬剤師のお仕事

病院や薬局で薬の管理・調剤を行う職業です。また、製薬会社で薬の研究・開発などに携わる人もいます。身近な薬の専門家として、薬や服用の相談に乗ることが大切な業務となります。

皆さんが病気になったとき、怪我をしたとき



皆さんの身近で
薬剤師は活躍して
います!

薬剤師の
活躍のフィールドは
他にもたくさん!
詳しくはこちらへ



製薬会社の薬剤師

製薬会社で薬の研究・開発などに
携わる薬剤師です。

学校薬剤師

学校環境の衛生管理などの仕事を
します。大学を除く、全ての学校に
必ず学校薬剤師がいます。

- 教室の環境チェック(騒音、照明など)
- プールの水質検査
- 薬品の管理状態の確認
- 給食室・保健室の衛生チェック
- 薬物乱用防止教室の実施

「薬あるところに薬剤師あり」

新たな感染症が発生した時、皆さんの地域にいる薬剤師は感染症で現れる症状に効く医薬品をお渡しすることももちろん、感染予防や感染拡大防止のために重要な役割を果たします。また、医師による診断だけでなく薬局窓口での検査が行われることがあります。地域の薬剤師は新たな感染症について正しい情報をお伝えし、効果的な感染防止対策に取り組み、地域の皆さんの健康確保に貢献します。

人の命を最前線で守る薬剤師

地震などの災害が発生すると必要な薬が手に入らなくなったり、病院に行けなくなったりします。そんな時、薬剤師は被災地において医薬品の適切な管理と供給を担い、避難所や救護所などで「お薬手帳」や「お薬相談」をもとに医師や他の医療スタッフと連携して調剤や薬を正しく使ってもらうための説明（服薬指導）をします。また、たくさんの人が集まる避難所では、風邪やインフルエンザなどの感染症が広がりやすくなるので、避難所の衛生管理や感染症予防にもアドバイスをするなど、他の支援スタッフと連携して被災者のみなさんの命と健康を守るためのサポートを行っています。

モバイルファーマシー（MP） 災害対応医薬品供給車両
避難生活などで、いつもの場所で薬を受け取れなくなることがあります。そんなときに活躍するのが「モバイルファーマシー」です。薬局の機能を備えた特別な車が、ライフラインが止まった被災地に向かい、薬の提供や調剤を行い、被災者のみなさんの健康を支えます。



薬は正しく使いましょう

すべての薬には
「主作用」と「副作用」があります。

薬は病気がけがの症状をよくするために使われます。効果（主作用）を得るためには、薬のはたらきとそのリスク（副作用）を理解し、医師や薬剤師の指示に従って正しく使うことが大切です。薬を使ったときにいつもと違う症状があったときは、すぐに医師・薬剤師、保護者などに相談しましょう。

薬を服用するときのルール

自分でもらった薬以外、絶対に飲まない。

他の人にはよく効いた薬でも、自分には合わず、体調が悪くなる場合があります。

薬は水かぬるま湯で飲みましょう。

お茶やジュースなどで飲むと、薬の効きめが変わってしまうことがあります。

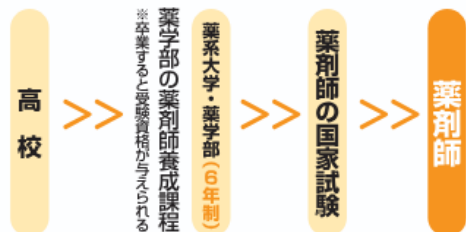
服用量を守りましょう。

薬の量や飲む回数を守りましょう。
薬はたくさん飲めば早く治るというものではありません。決められたとおりに飲むことが大切です。

薬剤師になるには

薬剤師は、国家資格です

薬剤師を目指すなら、6年制の薬剤師養成課程のある大学を選択し国家資格に合格することが必要です。



薬剤師に求められている社会的役割はとても広く薬剤師法の第1条では次のように定められています。
「薬剤師は、調剤、医薬品の供給その他薬事衛生をつかさどることによって、公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする。」
薬剤師の主な仕事には、薬の調剤や、薬を渡すときの服薬指導や情報提供、OTC医薬品※に関する相談対応などがあります。しかし、薬剤師の役割はそれだけでなく、地域住民一人ひとりの健康づくりに貢献することが求められています。

※英語の「Over The Counter：オーバー・ザ・カウンター」の略で、カウンター越しにお薬を販売するのちに由来しています。

薬学部で学ぶことは？

どのような勉強が必要？ 薬剤師に求められる経験やスキルは？などをインタビューしました。

大学生活は6年間！
幅広い知識と実習を学びます。

4年制を卒業しても受験資格は得られないため、薬剤師になりたい場合は、6年制の薬学部を卒業し、薬剤師国家試験に合格する必要があります。大学では、医薬品の構造や性質から薬物療法につながる薬理・病態、公衆衛生などの専門知識を学びます。



薬剤師歴3年



薬剤師歴2年

学んだ知識と技術を
実際の医療現場で生かす「実務実習」

実習は約半年、薬局実習と病院実習をおよそ半々の割合で行います。薬剤師が実際にどんな働き方をしているのかを見学したり、また指導してくれる先輩薬剤師がついてくれるので、薬のことや調剤について教わったり、患者さんに対して行う服薬指導を実際に体験したりといった機会になります。患者対応に必要なコミュニケーション能力など、薬剤師としての実践力を養います。

薬剤師Q&A

薬剤師の仕事編

Q：薬剤師って、どんなところで働いているの？

A：薬局や病院がよく知られていますが、それ以外にも製薬会社、研究機関、大学、行政など、さまざまな場所で活躍しています。

Q：薬剤師って、医師や看護師とどんなふうに関わっているの？

A：患者さんが安全に薬を使えるよう、処方された薬の内容を確認し、必要に応じて医師に提案をしたり、他の医療職と連携して治療を支えています。

Q：チーム医療ってよく聞けど、薬剤師にしかできないことってあるの？

A：薬の専門家として、薬の選び方や使い方、飲み合わせ、副作用のリスクなどを

判断し、安全で効果的な治療を支えるのは薬剤師の重要な役割です。

Q：もし薬が間違えて処方されたら…？薬剤師も気づけるの？

A：薬剤師は処方箋を必ず確認し、不適切な内容があれば医師に連絡して確認します。患者さんの安全を守る「最後の砦」として役割も担っています。

薬学部と進路の疑問編

Q：薬学部って6年も通うの？他の学部とどう違うの？

A：薬剤師になるには6年間の専門的な学習と実習が必要です。病院や薬局での実習もあり、現場で活躍できる力を身につけるカリキュラムになっています。

Q：薬学部ってどんな勉強をするの？

A：化学・生物などの基礎薬学から、薬の働きや体の仕組み、病気の治療法、患者さんとの接し方といった臨床薬学まで、幅広く学びます。

Q：薬学部って忙しいうって聞けど、遊ぶ時間ある？

A：勉強や実習の時期は忙しいこともありますが、計画的に取り組めば、サークル活動や旅行なども楽しめます。学生生活を充実させている先輩も多いです。

Q：文系だけど、薬剤師になれるの？

A：薬学部は理系の学びが中心ですが、文系でも理数科目をしっかり準備すれば目指すことは可能です。強い意志と努力があれば大丈夫です。

Q：理科は得意だけど、人と話すのが苦手・・・薬剤師に向いてない？

A：話すことが得意でなくても、相手の気持ちに寄り添い、丁寧に対応する姿勢があれば薬剤師として大きな力になります。少しずつ経験を積んでいけば問題ありません。

進路準備・将来性編

Q：薬学部を目指すなら、高校でどんな準備をすればいいの？

A：化学や生物、数学といった理系科目をしっかり学んでおくことが大切です。加え

て、国語や英語も、将来患者さんとのコミュニケーションや文献読解で役立ちます。

Q：薬剤師になったら、どんな“やりがい”があるの？

A：患者さんから「ありがとう」「薬のおかげで楽になったよ」と言ってもらえたとき、大きなやりがいを感じます。人の健康や命を支える、責任のある仕事です。

Q：薬剤師って、これから必要とされる職業？

A：高齢化が進む中、通院が難しい患者さんの薬の管理や使い方など、在宅での治療を支える薬剤師の役割はますます重要になります。患者さんの最適な治療を支える役割を担う意味でも、これからの社会でも、長く必要とされ続ける専門職です。

また、薬剤師は医療だけでなく健康づくりに貢献し、薬局はまちの健康相談所としても機能しています。治療の方だけでなく、地域の人々の生活を支える存在としても活躍できる職業です。